

Daily Macro Economic Insights

貿易収支(通関統計)(2025年1月)

— 名目輸出は4か月連続増加、輸出数量は弱い動き —



PwC Intelligence シニアエコノミスト 伊藤 篤

チーフエコノミスト、上席執行役員 片岡 剛士

名目輸出金額が4か月連続の増加

財務省から、2025年1月の貿易統計が公表された(図表1)。輸出金額(名目、原数値)は7兆8,637億円、前年比+7.2%となり、4か月連続で増加した。品目別では、自動車、船舶、医薬品が増加し、建設用・鉱山用機械で減少した。商品別にみると、輸送用機器が前年比+12.0%(寄与度+2.7%ポイント)となり、6か月連続で増加した。減少が続いていた米国向けがようやく増加に転じたことが寄与した。一般機械は同+0.8%(寄与度+0.1%ポイント)となり、4か月連続で増加した。このうち、半導体等製造装置が前年比-1.1%と減少したが、原動機、金属加工機械などが押し上げた。電気機器は前年比-0.6%(寄与度-0.1%ポイント)となり、うち半導体等電子部品は+0.1%ポイント押し上げた。それ以外では、化学製品、鉱物性燃料が増加した。

輸入金額(同)は10兆6,225億円となり、前年比+16.7%と2か月連続で増加した。エネルギー関連の鉱物性燃料は同+4.0%(寄与度+1.0%ポイント)と5か月ぶりに増加した。電気機器は前年比+18.2%(寄与度+3.0%ポイント)と押し上げた。一般機械が前年比+46.9%(寄与度+4.3%ポイント)となった。エネルギー関連よりも、それ以外の中間財・資本財の輸入寄与が大きくなっている。

貿易収支(原数値)は-2兆7,588億円となり、2か月ぶりにマイナスとなった。なお、季節調整済み値では輸出が9兆2,526億円(前月比-2.0%)、輸入が10兆1,093億円(同+4.7%)となり、貿易収支は-8,566億円(同+287.6%)となった。

地域別輸出:米国・アジア向けが増加も、EU・中国向けが大幅に減少

次に地域別の名目輸出動向を確認しておこう。1月の米国向けは前年比+8.1%となり、6か月ぶりの増加となった。商品別には、自動車を含む輸送用機器が前年比+12.6%(寄与度+4.3%ポイント)と押し上げた。その他、電気機器も増加した。1月のEU向けは、前年比-15.1%となった。2か月ぶりの減少となった。均すと2024年8月から半年以上減少傾向が続いている。商品別では輸送用機器が前年比-29.3%と大幅に減少し、一般機械も同-20.1%となった。中国向けは、12月に前年比-6.2%となり2か月連続で減少した。品目別には一般機械、電気機器で減少した。中国以外のアジア向けは、前年比+12.1%となり13か月連続で増加となった。

図表1:貿易収支の推移

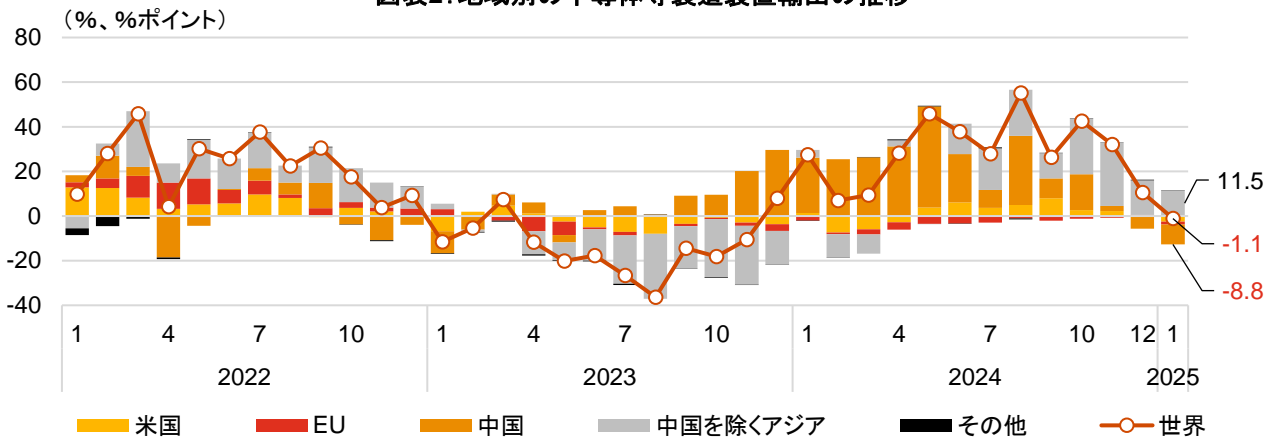
	名目(兆円)			名目・前年比(%)												
	輸出	輸入	収支	輸出総額				商品別			輸入総額					
				地域別	米国	EU	中国	中国以外のアジア	輸送用機器	一般機械	電気機器	商品別	鉱物性燃料	電気機器	化学製品	
2023年	1月	6.6	10.1	▲3.5	3.5	10.4	9.5	▲17.1	2.3	9.2	4.5	▲1.5	17.5	46.4	11.7	1.8
	2月	7.7	8.6	▲0.9	6.5	14.9	18.6	▲10.9	4.0	16.1	1.4	▲1.7	8.3	18.6	15.8	▲2.6
	3月	8.8	9.6	▲0.8	4.3	9.3	5.1	▲7.7	2.5	23.0	1.7	▲4.5	7.0	11.6	8.9	▲14.9
	4月	8.3	8.8	▲0.5	2.7	10.5	11.8	▲2.8	▲8.0	19.8	▲0.1	▲4.3	▲2.7	▲18.1	12.9	▲4.0
	5月	7.3	8.7	▲1.4	0.6	9.4	16.6	▲3.4	▲10.4	38.9	▲3.6	▲8.0	▲10.2	▲27.7	▲1.9	▲13.5
	6月	8.7	8.7	0.0	1.5	11.5	15.0	▲10.9	▲7.0	38.1	▲1.5	▲6.3	▲13.1	▲33.2	▲7.8	▲13.9
	7月	8.7	8.8	▲0.1	▲0.3	13.5	12.4	▲13.4	▲13.2	22.7	▲4.5	▲7.3	▲14.1	▲36.7	▲1.8	▲12.7
	8月	8.0	8.9	▲1.0	▲0.8	5.1	12.7	▲11.0	▲7.6	25.6	▲9.6	0.2	▲17.7	▲35.9	▲6.1	▲15.5
	9月	9.2	9.2	0.0	4.3	13.0	12.9	▲6.2	▲3.3	21.2	▲1.4	▲4.0	▲16.2	▲38.0	▲7.6	▲21.8
	10月	9.1	9.8	▲0.7	1.6	8.5	8.9	▲4.0	▲6.1	27.5	▲6.4	▲3.9	▲12.1	▲27.8	5.7	▲16.8
	11月	8.8	9.6	▲0.8	▲0.2	5.4	▲0.0	▲2.2	▲5.1	11.3	▲10.2	▲0.4	▲11.6	▲25.3	4.7	▲18.5
	12月	9.6	9.6	0.0	9.7	20.2	10.3	9.5	▲0.4	36.6	2.0	1.2	▲6.6	▲17.7	8.9	▲18.0
2024年	1月	7.3	9.1	▲1.8	11.9	15.6	13.8	29.2	7.3	24.1	5.2	7.6	▲9.8	▲22.5	▲8.7	▲12.3
	2月	8.2	8.6	▲0.4	7.8	18.4	14.6	2.5	2.2	20.1	3.7	7.7	0.4	▲14.2	0.3	▲8.0
	3月	9.5	9.1	0.4	7.3	8.5	3.0	12.6	3.6	10.3	3.9	9.9	▲5.1	▲11.5	▲3.3	▲9.1
	4月	9.0	9.5	▲0.5	8.3	8.8	▲2.0	9.6	9.8	15.9	5.7	8.5	8.0	5.7	1.5	▲2.0
	5月	8.3	9.5	▲1.2	13.5	23.9	▲10.1	17.8	11.4	16.9	9.8	16.9	9.4	6.4	0.9	4.9
	6月	9.2	9.0	0.2	5.4	11.0	▲13.4	7.2	7.9	0.8	3.5	7.4	3.3	▲2.1	1.7	1.3
	7月	9.6	10.2	▲0.6	10.2	7.3	▲5.3	7.3	19.4	5.7	5.0	14.2	16.5	12.1	13.5	22.4
	8月	8.4	9.1	▲0.7	5.5	▲0.7	▲9.1	5.2	14.7	▲5.1	7.9	8.7	2.2	0.6	▲4.4	12.4
	9月	9.0	9.3	▲0.3	▲1.7	▲2.4	▲9.0	▲7.3	4.2	▲7.5	▲3.3	0.8	1.9	▲3.7	2.4	2.7
	10月	9.4	9.9	▲0.5	3.1	▲6.2	▲11.3	1.4	11.0	▲4.4	2.2	0.4	0.5	▲11.4	0.1	5.6
	11月	9.2	9.3	▲0.1	3.8	▲8.0	▲12.5	4.1	11.5	▲6.0	5.1	1.0	▲3.8	▲18.2	▲2.9	▲1.6
	12月	9.9	9.8	0.1	2.8	▲2.1	0.5	▲3.1	10.8	▲7.6	3.7	4.7	1.8	▲8.4	▲7.2	2.0
2025年	1月	7.9	10.6	▲2.8	7.2	8.1	▲15.1	▲6.2	12.1	12.0	0.8	▲0.6	16.7	4.0	18.2	26.2

(出所) 財務省より筆者作成。

半導体製造装置輸出:2023年12月以降の増加傾向が一服

2025年1月の半導体等製造装置輸出は、前年比-1.1%(前月(12月):同+10.6%)となった(図表2)。2023年11月以来、1年2か月ぶりの減少となった。地域別にみると、1月の中国向け輸出は前年比-20.8%、寄与度-8.8%ポイントと押し下げた。2か月連続で減少した。米国向けも前年比-20.2%、寄与度-2.5%ポイントとなり9か月ぶりに減少した。EU向けも前年比-30.6%、寄与度-1.4%ポイントと減少した。一方、中国を除くアジア向けは前年比+28.5%、寄与度+11.5%ポイントと主要地域で唯一の増加となった。これまで米国による中国向けの半導体等製造装置の規制強化前の中国向け輸出が牽引していたが、その動きが一服したとみられる。

図表2: 地域別の半導体等製造装置輸出の推移



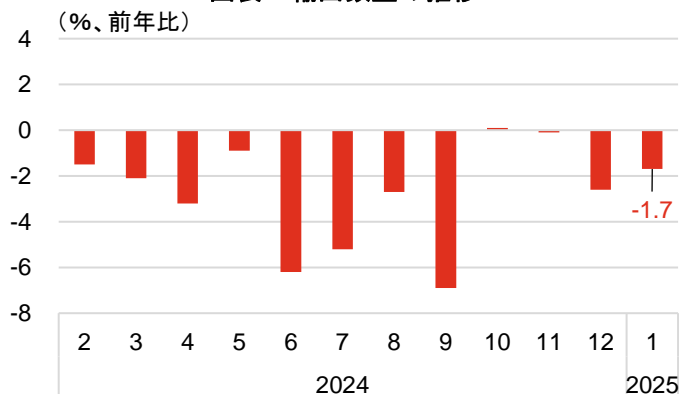
(出所) 財務省より筆者作成。

輸出数量:減少傾向が継続

以上は名目値での議論であるが、足元の輸出入は価格変化の影響を大きく受けているため、その影響を除いた輸出数量指数(財務省公表値)を確認しておこう。1月の輸出数量(図表3)は、前年比-1.7%(前月:同-2.6%)となった。2か月連続で減少した。図表4で地域別にみると、1月は米国向けが前年比-3.5%(前月:同-6.5%)となった。8か月連続でのマイナスとなったものの、減少幅はやや縮小した。EU向けは同-18.1%(前月:同0.0%)となり、急激に落ち込んだ。前月の持ち直しは一時的な動きであり、2桁の減少傾向が継続している。中国向けは同-15.2%(前月:同-10.2%)と10か月連続の減少となり、かつ減少幅も拡大した。アジア向けは同-1.7%(前月:同+1.0%)となり、ゼロ近傍で一進一退の動きとなっている。

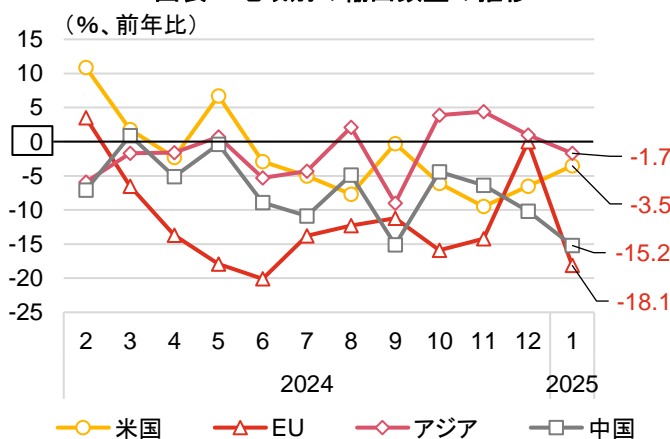
名目輸出金額は4か月連続で増加したものの、輸出数量は減少傾向が継続している。12月の貿易統計では主要4地域すべてで輸出数量が減少している。今後の日本経済の下押し要因とならないか慎重にみていく必要がある。

図表3: 輸出数量の推移



(出所) 財務省より筆者作成。

図表4: 地域別の輸出数量の推移



(出所) 財務省より筆者作成。

片岡 剛士

チーフエコノミスト、上席執行役員
PwC Intelligence
PwCコンサルティング合同会社

伊藤 篤

シニアエコノミスト
PwC Intelligence
PwCコンサルティング合同会社

PwC Intelligence 統合知を提供するシンクタンク
<https://www.pwc.com/jp/ja/services/consulting/intelligence.html>

PwCコンサルティング合同会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1 Otemachi One タワー Tel:03-6257-0700